



校長室の窓

がっこうさい つた なん

学校祭で、あなたが伝えたいことは何ですか？

気候の上で過ごしやすい2学期は、たくさんの学校行事がある学期です。その中でも2つ大きな学校行事があります、9月22日に行われた小中合同の大運動会と10月29日に行われる学校祭です。それぞれ1日かけての行事であり、保護者やご家族の方ももちろん、地域の方もたくさん見に来られます。

「実りの秋」と表現されることが多い秋ですが、「スポーツの秋」「学問の秋」「文化の秋」「芸術の秋」とも表現されることを聞いたことがあります。運動会は、まさに「スポーツの秋」を代表する学校行事です。それに対して、「学問の秋」「文化の秋」「芸術の秋」を代表する学校行事が、学校祭だと思えます。

今、福栄小中学校の児童生徒の皆さんは、学校祭本番に向け、教科の授業の時間や総合的な学習の時間を使って、準備や練習を進めています。発表の形も、自分たちがつくった作品を展示する展示発表もあれば、ステージの上などで練習してきた成果を発表するステージ発表もあります。また、個人での発表もあれば、集団での発表もあります。集団での発表も、学年ごとの発表、小学生でまとまった発表、中学生でまとまった発表、そして、5・6年の高学年児童の皆さんと中学生の皆さんが力を合わせての発表とさまざまです。

大切なことは、これらの発表を通して、見ている人や聞いている人にいったい何を伝えるのかということではないでしょうか。皆さんは、今そのことを自分たちなりに考えて、準備や練習に取り組んでいますか。福栄小中学校がめざしているのは、『ひたむき・ぬくもり・さわやかを共に大切にす山口県一美しい学校』です。「ひたむき」とは、何事にも心をこめて一生懸命に取り組むことです。8月に行われたリオデジャネイロでのオリンピックが、見ている人の心を大きく揺さぶったのは、ひたむきに競技に取り組む選手の姿があったからではないでしょうか。29日の学校祭では、毎日の学校生活の中で身に付けてきた皆さんの「ひたむきな姿」をさまざまな発表を通して、学校に来られた方にしっかり伝えてほしいと思えます。それが学校祭を見に、そして、聞きに来られた方にもって帰っていただく大切な「おみやげ」です。保護者やご家族の方、地域の方は、皆さんの発表を通して、福栄小中学校がどんな学校なのかを感じ取られるはずですよ。



今年度の学校祭のテーマは、「出発～はじまりの第一歩～」。小学1年生から中学3年生までの9つの学年の児童生徒が共に学校生活を送る新しい学校としてスタートを切った福栄小中学校にふさわしいテーマだと思えます。発表する皆さんにとっても、学校に来られた方にとっても、よい1日になるといいですね。